

題目（2行以内。2行になる場合は適宜改行。MSゴシック，中央揃え，20pt厳守）

副題（2行以内。2行になる場合は適宜改行。MSゴシック，中央揃え，14pt
厳守）

所属（発表時点）・氏名

[illegible]

1. 書式

フォントの調整は行わず、このファイル上にご執筆ください。ただし、書式についての以下の説明文は、原稿の内容に関係するものでないため、執筆の過程で削除してください。

原稿は8ページ内に収めてください。

パラグラフの冒頭は、全角1文字分の空欄を設けてください。

本文の見出しには、「1. 問題意識」「2. 分析モデル」など、アラビア数字で番号を付けてください。見出し以外にも、小見出しをつけていただいて構いません。「3.1 調査方法」「3.2 変数」など、枝番号をつけてください。

本文中の引用は、「著者の姓（出版年：引用ページ）」または「（著者の姓，出版年：引用ページ）」としてください。文献リストは，原稿の終わりにまとめて掲載してください。

図や表は原稿本文に直接記入して下さい。別ファイルでの提出は認めません。余白に差し掛からないサイズで収めていただければ、様式は自由です。

脚注の位置は、「本文の後ろ」です。本文終了後、1行分のスペースを空け、「注」と見出しを付け、改行してから通し番号（アラビア数字）で記入してください。¹

「注」の後ろに1行分のスペースを空け、「引用文献」と見出しを付け、改行してから、「和文」と「その他のグループ」ごとに、アルファベット順でリスト化してください。複数著編者の場合は、第一著編者のアルファベット順としてください。スタイルは概ね「日本労務学会機関誌」規程に準じてください。²

ページ番号については、プログラム委員会『研究報告集』編集担当の方で最終的に振りますので、記入しないでください。

2. 注意事項

所定の書式からの逸脱が確認された原稿については、プログラム委員会『研究報告集』編集担当から、修正依頼をさせていただきます。十分な修正が見られない場合、提出がなかったという扱いをさせていただきますことでもありますので、書式規定の遵守へのご協力を、よろしくお願いします。

原稿については、(1)MS Word、(2)PDF、の2つの形式で作成されたファイルの両方を、添付ファイルで編集担当のメールアドレス（jshrm54program@ml.hosei.ac.jp）にお送り下さい。

メールの件名（表題）は、「第54回全国大会研究報告集原稿・〇〇〇〇（注：発表者氏名）」として下さい。発表者が複数にわたる場合は、「〇〇〇〇」の部分は「第一発表者氏名など」として下さい。メールの本文には「発表者全氏名・発表者全所属（ただし発表時点）・発表タイトル」をご記入下さい。

原稿の提出締切は2024年3月31日（日）となります。プログラム編成へのご協力の程、よろしくお願いします。

注

¹ 注の内容については、各ページの下欄に脚注として配置しないよう、ご注意ください。

² 学会の知的交流の促進、知的資産の蓄積のため、実際に発生した引用文献はなるべくリストしてください。

引用文献

【和書籍】

著者名（出版年）．『書名』，出版社名．

【洋書籍】

著者名（出版年）．書名（イタリック）．出版社名．

【和雑誌】

執筆者名（出版年）．「論文名」掲載誌名．巻（号），ページ番号．

【洋雑誌】

執筆者名（出版年）．論文名．掲載誌名（イタリック），巻（号），ページ番号．

例：

【和書籍】

佐藤俊樹（2008）．『意味とシステム—ルーマンをめぐる理論社会学的探求』，勁草書房．

【洋書籍】

Organ, D. W., Podsakoff, P. M., & MacKenzie, S. B. (2005). *Organizational citizenship behavior: Its nature, antecedents, and consequences*. Sage Publications.

【和雑誌】

松崎学・浜崎隆司（1990）．「向社会的行動研究の動向—内的プロセスを中心にして」心理学研究, 61(3), 193-210.

【洋雑誌】

Takeuchi, R., Bolino, M. C., & Lin, C. C. (2015). Too many motives? The interactive effects of multiple motives on organizational citizenship behavior, *Journal of Applied Psychology*, 100(4), 1239-1248.